

広東省および主要都市の経済概況(2016年)

【地理・歴史】大陸部最南端に位置。福建省、江西省、湖南省、広西チワン族自治区、香港・マカオと隣接。省内を流れる珠江の河口周辺部は珠江デルタと呼ばれ、広州市、深圳市、東莞市など9市からなる経済の中心地。方言話者が多く、広東語4,000万人、閩南語1,700万人、客家語1,500万人。広東出身の華僑・華人は3,000万人以上で全国の半数を占める。

【経済・産業】1980年に深圳市・珠海市・汕頭市が経済特区に指定、香港資本の誘致を中心に対外開放が進んだ。深圳市・東莞市では香港を活用した広東式の加工貿易（原材料を保税輸入し加工品を輸出）が発展。多くの外資系企業が進出し電子・電機産業が集積。中でも深圳市は中国最大の電子・電機の集積地に。2000年代は「転型昇級」と呼ばれる産業構造転換・高度化を図り、加工貿易が柱の輸出型経済から、高付加価値・ハイテク産業やサービス産業への転換を推進。広州市周辺は日系を中心に自動車産業も集積、完成車280万台を生産し全国トップクラス。深圳市は「山寨（模倣品）」の街を経てハードウェア系スタートアップ/ベンチャーの中心地に。

【その他】2015年には広州南沙新区、深圳前海新区、珠海横琴新区に中国（広東）自由貿易試験区が設置。「粵港澳大湾区」計画により広東省・香港・マカオの連係強化をめざし、三地域を繋ぐ「港珠澳大橋」や広州市～香港の高速鉄道などインフラ整備が進む。

【日系企業】珠江デルタ中心に自動車、電子・電機、小売・飲食、化学品、機械など約1,600社。



	単位	広東省	対前年 増減	全国に占める 広東省の割合	広州市	対前年 増減	広東省に占める 広州市の割合	深圳市	対前年 増減	広東省に占める 深圳市の割合	東莞市	対前年 増減	広東省に占める 東莞市の割合
面積	万km ²	18.0	—	1.9%	0.7	—	4.0%	0.2	—	1.1%	0.2	—	1.4%
常住人口	万人	10,999	1.4%	8.0%	1,404	4.0%	12.8%	1,191	4.7%	10.8%	826	0.1%	7.5%
GRP	億元	79,512	7.5%	10.7%	19,547	8.2%	24.6%	19,493	9.0%	24.5%	6,828	8.1%	8.6%
うち第1次産業	億元	3,694	3.1%	5.8%	239	0.4%	6.5%	7	▲0.6%	0.2%	24	5.6%	0.7%
うち第2次産業	億元	34,001	6.2%	11.5%	5,752	5.5%	16.9%	7,780	7.8%	22.9%	3,137	8.7%	9.2%
うち第3次産業	億元	41,816	9.2%	10.9%	13,557	9.6%	32.4%	11,705	9.8%	28.0%	3,630	7.6%	8.7%
固定資産投資	億元	33,009	10.0%	5.4%	5,704	8.0%	17.3%	4,078	23.6%	12.4%	1,557	7.7%	4.7%
社会消費品小売総額	億元	34,739	10.2%	10.5%	8,706	9.0%	25.1%	5,513	8.1%	15.9%	2,471	13.1%	7.1%
都市住民一人当たり可 処分所得※2	元/年	37,684	8.4%	—	50,941	9.0%	—	48,695	9.1%	—	43,096	8.3%	—
貿易額※2	億ドル	9,553	▲6.6%	25.9%	1,293	▲3.4%	13.5%	3,984	▲9.9%	41.7%	1,725	3.0%	18.1%
うち輸出※2	億ドル	3,567	▲7.0%	17.0%	782	▲3.7%	21.9%	2,373	▲10.1%	66.5%	990	▲4.4%	27.8%
うち輸入※2	億ドル	5,986	▲6.0%	37.7%	511	▲3.0%	8.5%	1,611	▲9.7%	26.9%	735	14.9%	12.3%
対内直接投資額※2 (実行ベース)	億ドル	233	▲13.1%	18.5%	57	5.3%	24.4%	67	3.6%	28.8%	39	▲26.2%	16.8%

出所：2017広東省統計年鑑（※1各数値は小数点以下、%は小数点第二位以下を四捨五入している。 ※2 GRP伸び率は実質。）